

資料1

平成24年度第21回震災復興推進本部会議提案 審議・報告

提出日：平成25年2月13日

担当部・課：総務部 防災対策課 [内線4158]

①件名
(仮称)石巻東消防署の整備計画(案)について
②施策等を必要とする背景及び目的(理由)
<p>【背景】</p> <p>平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とその後に襲来した巨大津波により、多くの市民の尊い命とかけがえのない財産が奪われ、生活を支える産業基盤が破壊された。</p> <p>市内の消防署所においても、流失、全壊など甚大な被害を受け、地域の安全と安心を担保する消防力の低下が懸念されているところである。</p> <p>【目的】</p> <p>震災により湊地区・渡波地区においても、ほぼ全域が浸水し当該地区内に設置されている石巻消防署湊出張所・石巻消防署渡波出張所も大きな被害を被った。</p> <p>当該地区は、旧北上川により災害時には消防力が分断されることも想定されること及び、新市街地開発事業に伴う人口増加が見込まれ、半島部を含めた防災拠点となる消防設備の早期整備が必要である。</p>
③根拠法令及び総合計画又は個別計画との整合性
<p>【根拠法令】</p> <p>(1) 消防組織法</p> <p>(2) 石巻地区広域行政事務組合規約</p> <p>【総合計画又は個別計画との整合性 位置付け：有・<input type="checkbox"/>無】</p>
④提案に至るまでの経過(市民参加の有無とその内容を含む。)
<p>【経過】</p> <p>平成24年1月～3月 石巻市消防庁舎検討ワーキンググループ【消防本部・広域行政事務組合・市防災対策課・市建築課担当者】(6回開催)</p> <p>平成24年3月28日 石巻市消防庁舎検討ワーキンググループ検討結果報告</p> <p>平成24年8月～ 消防署所の現状等に係る協議</p> <p>平成24年12月 (仮称)石巻東消防署整備計画(案)作成</p> <p>平成25年1月7日 渡波区長会会長へ説明</p> <p>平成25年1月9日 湊地区連合会会長へ説明</p> <p>平成25年1月15日～17日 地元議員(湊・渡波地区)へ説明</p> <p>平成25年1月30日 渡波地区区長会役員へ説明</p>
⑤主な内容
<p>石巻市新渡波西地区被災市街地復興土地地区画整理地内に、(仮称)石巻東消防署を統合新築し、石巻消防署湊出張所及び石巻消防署渡波出張所を廃止する。</p>

⑥実施した場合の影響・効果（財源措置及び複数年のコスト計算を含む。）

1 必要性

- ア 水産加工施設が混在することが想定されることから、一般住宅地とは異なった火災等の災害形態に対応する。
- イ 老朽化した湊出張所及び渡波出張所が震災で更に損傷したことにより、今後の災害に対応するためにも、庁舎の早期整備が必要である。
- ウ 旧北上川に架かる橋の損傷により、消防力が分断された場合においても、湊、渡波地区の総合的な消防力を維持する必要がある。
- エ 新市街地開発事業に伴う人口増加への対応が必要である。

2 統合することに伴う消防力の強化

- ア 2出張所を統合することにより、能率的かつ効果的な消防力が維持できる。
- イ 現在、湊出張所には救急車が配備されていないが、統合により救急隊が配置され、迅速な救急出動が図られることが可能になる。
- ウ 統合により、消火活動など2ヶ隊連携による迅速な防御活動が可能となる。
- エ 東消防署の設置により、災害等で孤立した場合であっても東部地区における独立した災害現場活動が可能となる。
- オ ヘリポートや消防団ポンプ置場等を併設することにより、災害時における援助隊の受け入れや消防団との連携が容易になり、石巻市東部地区の防災拠点としての機能強化が期待される。

3 財源措置

平成25年度～27年度

- ・(仮称)石巻東消防署 概算費用 700,000,000円(用地取得費、地質調査、設計委託、建設費等)

※財源は復興交付金及び災害復旧補助金を予定

⑦他の自治体の政策との比較検討

⑧今後の予定及び施行予定年月日

平成25年2月	市議会総合防災対策特別委員会で説明予定
平成25年2月	住民説明会予定
平成25年度～ 平成26年度	用地取得・地質調査・実施設計
平成27年4月～	建設工事
平成28年4月～	運用開始

⑨その他

(仮称) 石巻東消防署

整備計画(案)

平成24年12月

総務部防災対策課

I 消防署所の被災状況と課題

1 はじめに

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震と、その後に襲来した巨大津波により多くの市民の尊い命と、かけがえの無い財産が奪われ、生活を支える産業基盤が破壊された。市内の消防署所においても流失、全壊など甚大な被害を受け、地域の安全と安心を担保する消防力の低下が懸念される場所である。

湊地区及び渡波地区においても、ほぼ全域が浸水し当該地区内に設置されている両出張所も大きな被害を被った。

当該地区は、北上川により災害時には消防力が分断されることも想定され、牡鹿地区及び雄勝地区への支援も考えた場合、当該地区に消防力の拠点となる施設整備が必要とされるものである。

なお、震災による仮設住宅の建設や防災集団移転、さらには蛇田地区における人口増加や大型店舗の進出などに伴う西分署、市中心部から遠隔にある牡鹿出張所の早期復旧整備は今後、早急に実施することとしている。

2 消防施設等の被災状況

(1) 常備消防関係

- ・全壊した消防庁舎・・・河北消防署北上出張所、女川消防署雄勝出張所、女川消防署牡鹿出張所
- ・半壊等の消防庁舎・・・南分署、湊出張所、渡波出張所、河北消防署桃生出張所
- ・被災車両・・・・・・・・消防ポンプ車9台、救助工作車1台、化学ポンプ車1台
救急車5台、広報車5台

(2) 非常備消防関係

- ・全壊した消防ポンプ置場・・・64棟
- ・半壊・一部損壊・・・・・・・・10棟

3 復旧方法

- (1) 蛇田地区・・・・・・・・(仮称)西分署として蛇田地区中心部に復旧する。
- (2) 牡鹿出張所・・・・・・・・流出したことから、清崎運動公園入り口付近に移転新築する。
- (3) 湊、渡波出張所・・統合し、(仮称)東消防署として新渡波西地区土地区画整理地内に移転新築する。
- (4) 中央出張所・・・・・・・・東西消防署所の運用開始と合わせて廃止予定
- (5) その他の出張所等・・復旧予定であるが、整備方法等については未定

Ⅱ 復旧に向けて

1 (仮称)石巻東消防署の整備

(1) 現状と方向

湊地区及び渡波地区は巨大津波により、ほぼ全域が浸水し当該地区に設置されている両出張所も大きな被害を被った。当該地区は、現在、復興段階にあり、本市の基幹産業である水産業に関連する様々な企業が進出し、今後、県内有数の一大水産加工団地が形成されるものと思われる。

また、湊北、湊西、湊東、新渡波、新渡波西地区など多く新市街地開発事業が計画されており、拠点となる消防力の強化が重要であることから、湊出張所と渡波出張所を統合し、新たに石巻東消防署を設置する。

(2) 必要性

ア 水産加工施設が混在することが想定されることから、一般住宅地とは異なった火災等の災害形態に対応する。

イ 老朽化した湊及び渡波出張所が震災で更に損傷したことにより、今後の災害に対応するためにも、庁舎の早期整備が必要である。

災害時に庁舎そのものの危険性が高いこと。

ウ 旧北上川に架かる架橋の損傷により、消防力が分断された場合においても、湊、渡波地区の総合的な消防力を維持する必要があること。

エ 新市街地開発事業に伴う人口増加への対応が必要であること。

オ ヘリポートや消防団ポンプ置場等を併設することにより、災害時における援助隊の受け入れや消防団との連携が容易になり、石巻市東部地区の防災拠点としての機能強化が期待される。

(3) 統合することに伴う消防力の強化

ア 2出張所を統合することにより、能率的かつ効果的な消防力が保てること。

イ 現在、湊出張所には救急車が配備されていないが、統合により配置され迅速な救急出動が図られること。

ウ 統合により、消防車など2ケ隊連携による防御活動が可能となることから、迅速な消火活動等が見込まれる。

エ 東消防署の設置により、災害等で孤立した場合であっても東部地区における独立した災害現場活動が可能となる。

(4) 設置場所等の検討結果

以下の状況により湊地区と渡波地区のほぼ中間地点である、新渡波西地区を候補地とした。

ア 湊、渡波地区全体をカバーできる場所であること。

イ 周辺、主要道路等へのアクセスが良く、出動動線が容易に確保できること。

ウ 水産加工団地及び稲井地区にもアクセスが良好であること。

エ 渡波地区の防災集団移転予定地区であり、用地取得が比較的容易であること。

2 整備スケジュール案

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
整備方針決定	⇒			
用地取得・地質調査			⇒	
実施計画策定			⇒	
整備工事				⇒
運用開始				⇒

3 配備体制

- ア 配備車両
- ポンプ車 2台
 - 化学車(タンク車) 1台
 - 救助工作車 1台
 - 救急車 1台
 - 広報車 1台
 - 指令車 1台

イ 出動体制

3ヶ分隊編成

・消防隊 + 救助隊 + 救急隊

4 仕様等

区 分	規 模	面 積	備 考
庁舎 (車庫・機械室・物品庫・通路スペース含む)	30m×36m	1,080.00 m ²	
庁舎周囲緑地等スペース		100.00 m ²	
備蓄倉庫等スペース	10m×20m	200.00 m ²	
車庫前出動スペース(玄関前含む)	11m×30m	330.00 m ²	
訓練スペース(訓練施設部含む)	25m×40m	1,000.00 m ²	訓練塔 100.00 m ² 訓練スペース 900.00 m ²
来賓駐車場スペース(8台分)	5m×4m×8台	200.00 m ²	駐車スペース 160.00 m ² 通路 40.00 m ²
ヘリポート	30m×40m	1,200.00 m ²	
大規模災害時対応スペース (緊急援助隊・医療・物流)	25m×40m	1,000.00 m ²	
消防団詰所その他スペース		300.00 m ²	
計		5,410.00 m ²	

- ア 用地面積 5,410㎡
- イ 構造 鉄筋コンクリート2階建て
- ウ 延べ床面積 1,080㎡
- エ 総事業費 約7億円(用地取得費含む。)